

講義シラバス									
科目名	プロフェッショナルの道Ⅰ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	吉本 友美	講師 プロフィール	美容師、アイリストを経験後、本校の美容師科美容師国家試験対策へ携わる。 美容師科での勤務後、ヘアメイク科へ						
【授業を通じての到達目標】									
業界の基本知識を学び、必要な身構え、気構え、心構えを身に付ける。 主体性の発揮を促し、自身で考え行動できる人材、社会人として必要な人間力を身に付ける。									
【学習内容】									
就職ガイダンス/トレンドゼミ/その他講義									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
プロ道ファイル/筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/15) 4/17から変更	【到達目標】学校生活の理解				⑨ (6/19)	【到達目標】業界への理解、就職への一歩			
	オリエンテーション/シラバス確認/学年歴/授業日程確認/個人目標 プロ道ファイル作成/ITリテラシー					トレンドゼミ(2回目)			
② (4/24)	【到達目標】アシスタントプログラムの体験				⑩ (6/26)	【到達目標】自分自身の苦手を克服する			
	札コレ(アシスタントプログラム)					苦手克服プログラム/就職アンケート/目標確認			
③ (5/8)	【到達目標】2年後に向けての意識付け				⑪ (7/3)	【到達目標】就職向け気構え、身構え、心構えを学ぶ			
	GW振り返り(作品発表)個人目標振り返り/就職アンケート/開講振り返り/2年後の手紙					就職ガイダンス			
④ (5/15)	【到達目標】業界を深く知る				⑫ (7/10)	【到達目標】夏休み前に生活習慣を見直し、性教育を学ぶ			
	5/16のトレンドゼミ(1回目)への事前調査/就職アンケート					性教育セミナー			
⑤ (5/22)	【到達目標】就職への理解				⑬ (7/17)	【到達目標】夏休み前に生活習慣を見直し、性教育を学ぶ			
	就職講座～リサーチ/現場(アシスタントプログラム)について 就職アンケート/目標確認					夏休み前教育/目標確認/就職アンケート			
⑥ (5/29)	【到達目標】学年をまたいでの交流				⑭ (8/21)	【到達目標】夏休み明けの振り返り/定期試験の理解			
	学年交流会(予定)					夏休み明け宿題発表/目標確認/就職アンケート/定期試験に向け			
⑦ (6/5)	【到達目標】就職してからのお金への理解、就職に向けて				⑮ (8/28)	【定期試験】定期試験で赤点を取らない			
	マネー教育(お金の管理について、ヘアメイク就職) 就職講座(就職担当)					定期試験			
⑧ (6/12)	【到達目標】就職担当の先生より学ぶ				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	地域清掃								
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	トータルビューティ (ネイル・ハンドエステ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	大窪史子	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会本部認定講師。ネイルアトリエmipccip主宰。技術指導のほか、コンテスト審査、検定審査、セミナー講師、ネイルメーカーの技術デモ担当など。日本ネイリスト協会本部認定講師。ネイルアトリエmipccip主宰。技術指導のほか、コンテスト審査、検定審査、セミナー講師、ネイルメーカーの技術デモ担当など。						
【授業を通じての到達目標】									
ネイルテクニックの学びを通し、多様化するニーズに合わせて様々な角度から美を表現できる能力を身につける									
【学習内容】									
ネイルケア、カラーリング、アートテクニック、デザインの構築									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ネイル教材一式、スマートフォンまたはタブレット					課題など、授業時間内に完成できなかった時宿題となる場合がある				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】 ネイル用具の扱い方を学び、自分の地爪の長さや表面を整えることができるようになる				⑨ (6/19)	【到達目標】 自分でデザインしたアートをネイルチップに施すことができるようになる			
② (4/24)	【到達目標】 お客さまの指の支え方を学び、モデルの地爪の長さや表面を整えることができるようになる				⑩ (6/26)	【到達目標】 アートテクニックのバリエーションを学び、より多くのネイルアートができるようになる			
③ (5/8)	【到達目標】 ネイルケア用具の扱い方を学び、自分の爪のケア&カラーリングができるようになる				⑪ (7/3)	【到達目標】 モデルの爪に合わせてネイルチップをサイズ調整し、アートデザインを考案することができるようになる			
④ (5/15)	【到達目標】 ネイルケア用具の扱いに慣れ、モデルの爪のケア&カラーリングができるようになる				⑫ (7/10)	【到達目標】 モデルのために考案したアートをネイルチップに施すことができるようになる			
⑤ (5/22)	【到達目標】 ハンドマッサージの手法を学び、ネイルケア～マッサージのサービスを通して施術できるようになる				⑬ (7/17)	【到達目標】 決められたテーマにあわせたイメージカラーージュを作成～ネイルアート、ヘアメイクを考案し、トータルでデザインできるようになる			
⑥ (5/29)	【到達目標】 ボトルを持ったままカラーリングするテクニックを学び、テーブルや椅子がない状況でも対応できるようになる				⑭ (8/21)	【到達目標】 考案したデザインをネイルチップに施し、完成度の高い作品に仕上げることができるようになる			
⑦ (6/5)	【到達目標】 アートテクニックを学び、ネイルアートができるようになる				⑮ (8/28)	【定期試験】60 モデルにハンドマッサージを行った後、アートチップを装着して撮影する			
⑧ (6/12)	【到達目標】 自分の爪サイズにカスタマイズしたネイルチップを作ることができるようになる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業開始までにテーブルセッティングを済ませておく									

講義シラバス									
科目名	ベーシックメイクⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	松丸 亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクサロン経営。テレビ番組・広告・ブライダル・撮影なども行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
メイクの基礎を学び、様々なメイクに対応できる基礎知識を身につける、合わせて現場に必要な人間力を身に付け、現場に行けるようになる。									
【学習内容】									
基礎をしっかり身に付けたのち、応用技術を学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式・筆記用具					・事前準備(授業前までに確認)・期日までに提出物を提出する				
日時	授業計画			日時	授業計画				
① 4/16	【到達目標】小テスト2点			⑨ 6/18	【到達目標】小テスト3点				
	オリエンテーション(自己紹介・道具の確認・授業内容確認)メイクの仕上がりを左右する保湿・マッサージが出来るようになる				ブラシ・リップライナーを使い綺麗なリップメイクが出来るようになる				
② 4/23	【到達目標】小テスト2点			⑩ 6/25	【到達目標】小テスト4点				
	ベースメイクアイテムを使い、肌の質感・立体感・お悩みをカバーしたベースメイクが出来るようになる※下地・FDは手で塗る				フェイスチャートに色をのせカラーバランスやメイクのイメージを付ける				
③ 5/7	【到達目標】小テスト2点			⑪ 7/2	【到達目標】小テスト4点				
	ベースメイクアイテムを使い、肌の質感・立体感・お悩みをカバーしたベースメイクが出来るようになる※下地・FDはスポンジで塗る				フェイスチャートに色をのせカラーバランスやメイクのイメージを付ける				
④ 5/14	【到達目標】小テスト2点			⑫ 7/9	【到達目標】小テスト3点				
	アイシャドウ・ビューラー・マスカラ・アイラインの基本的な使い方				可愛い印象のメイクの理論を知りメイクが出来るようになる				
⑤ 5/21	【到達目標】小テスト2点			⑬ 7/16	【到達目標】小テスト3点				
	アイメイク～濃い色のアイシャドウを使ってグラデーションが綺麗に出来るようになる＆アイラインが綺麗に引けるようになる				カッコいい印象のメイクの理論を知りメイクが出来るようになる				
⑥ 5/28	【到達目標】小テスト3点			⑭ 7/20	【到達目標】小テスト3点				
	眉メイク～アイテムを使い分けて綺麗な眉が描けるようになる				定期試験対策授業				
⑦ 6/4	【到達目標】小テスト4点			⑮ 7/27	【定期試験】60				
	眉メイク～ソフトな印象の眉ときりっとした印象の眉の違いを知り描けるようになる				定期試験				
⑧ 6/11	【到達目標】小テスト3点			【成績評価の方法と基準】					
	骨格による cheek ののせ方			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
名札・必須道具の忘れ物は小テストよりマイナスとする									

講義シラバス

科目名	ベーシックヘアⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	岸田知紘	講師 プロフィール	札幌ビューターのィ・メイク専門学校卒業。美容師免許取得。卒業後、(株)田谷に入社。セットサロンにて15年勤務。ヘアセット歴17年。フリーランスのヘアメイク・ヘアセット講師・着付け師として活動の場を広げています。						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアセットの基礎を学び、様々なヘアセットに応用できる基礎技術を身につける。 現場で必要な人間力を身に付け現場に行ける様になる。									
【学習内容】									
基礎を知る。技術は反復により一層の理解を深める。【出来る】【わかる】が自信に繋がり向上心へと繋がる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
セットウィッグ・クランプ・ホットカーラー・ロールブラシ・ダッカル・ピン類 黒ゴム・ゴムを切るハサミ・ハードスプレー・ドライヤー・水スプレーヘアアイロン・テールコーム									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 4/18	【到達目標】道具の名前を知り デモンストレーションで使い方を 見てわかるようになる。 自己紹介・デモンストレーション・道具の説明・道具の使い方・ブ ロッキング・1束に挑戦する				⑨ 6/20	【到達目標】基本の編み込みができるようになる。 全頭巻き・様々な編み込み(小テスト 3点)			
② 4/25	【到達目標】ホットカーラーの技術を通してコームの使い方がわ かるようになる コームの使い方・ホットカーラーの説明・巻き方と実践・一束(相 モデル)(小テスト3点)				⑩ 6/27	【到達目標】基本の編み込みができるようになる。 全頭巻き・様々な編み込み(小テスト 3点)			
③ 5/9	【到達目標】全頭巻きの配置がわかるようになる。ピン打ちの理 論がわかるようになる 全頭 巻き・ピンの説明・ピンの理論・実践(小テスト3点)				⑪ 7/11	【到達目標】逆毛の意味を理解し、やり方がわかるようになる。 全頭巻き・(相モデル)・逆毛の理論・やり方・実践・逆毛を使っ たスタイル(小テスト 3点) (小テスト 3点)			
④ 5/16	【到達目標】ピン打ち シニヨン ができるようになる。 ホットカーラー全頭巻き・シニヨンを作る。オニピンの説明・使い 方・シニヨン1(小テスト3点)				⑫ 7/18	【到達目標】夜会巻きの作り方がわかるようになる。 夜会巻きの歴史・デモンストレーション・すき毛の説明・扱い方・ 実践(小テスト4点)			
⑤ 5/23	【到達目標】ピンうち・シニヨンができるようになる。 ホットカーラー全頭巻き・ピン打ち・シニヨン応用2(小テスト 3 点)				⑬ 7/25	定期試験の練習 (小テスト 3点)			
⑥ 5/30	【到達目標】ヘアアイロンの使い方・巻き方が理解できるようにな る 全頭巻き・ヘアアイロンの説明・実践・簡単なブロー・ピン打ち (小テスト3点)				⑭ 8/22	定期試験の練習 ウィッグの洗い方 (小テスト 3点)			
⑦ 6/6	【到達目標】ヘアアイロンが巻けるようになる。 全頭巻き・ヘアアイロン巻き・簡単なブロー (テスト 3点)				⑮ 8/29	【定期試験】60 定期試験 60点			
⑧ 6/13	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】				
	【到達目標】ヘアアイロンが巻けるようになる。 全頭巻き・ヘアアイロン巻き・様々な巻き方・簡単なブロー (小テスト3点)				●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
名札・必須道具の忘れ物は、小テストよりマイナスとする。									

講義シラバス									
科目名	ベーシックファッション	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	畑育実 大坂弥生	講師 プロフィール	有限会社ダディックファッション代表。主にCM、タレントなどのスタイリスト＆ヘアメイク &ファッションデザイナーとして活動し、美の総合プロデュースを行うイメージカウンセラー でもある						
【授業を通じての到達目標】									
ファッション業界におけるヘアメイクとファッションのつながりを理解し、習得したファッション基礎知識をトータルバランスへ活用出来るようになる。プロ フェッショナルな業界人を目指しモチベーションを高めることができる									
【学習内容】									
ファッションの基礎知識(トレンド感性、アイテム名称、シルエットライン、ディティールなど)の基本を習得し、ヘア、ネイル、ファッションとトータルバランス の活用方法をグループワークで協調性をもって取り組む									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
					GPワーク内での個人役割の準備				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】2 オリエンテーション。今後の授業内容の確認、自己紹介、ファッション業界について。業 界人としての必要な知識を習得し今後どのように取り組んでいくのか明確な計画と目標 を持つことができる。自分の考えるオシャレとは何か。				⑨ (6/19)	【到達目標】5 白いTシャツを活用したファッションコーディネート提案。柔軟な発想と積極性で時代の インフルエンサーとしてのあり方、役割を理解することができる。翌週のGPワーク			
② (4/24)	【到達目標】2 ファッションチェックのポイントと美点凝視について学習する。ファッションチェック、美点 凝視を通して、他者の良いところを見つけるプロとなる				⑩ (6/26)	【到達目標】5 前週でGPワークした内容を発表。説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。 課題適応力を養う			
③ (5/8)	【到達目標】2 トレンドの流れと世界5大コレクションについて、DVD視聴と解説、流行とは何か、世界の 5大コレクションを学び、ファッション業界と社会がどのような関わりを持っているのか理解で けるようになる				⑪ (7/3)	【到達目標】2 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネートのGPワーク。情報収集と分析 をもとに、与えられた課題に説得力のある提案が出来るようになる。課題適応力を養う			
④ (5/15)	【到達目標】2 ファッションコーディネート方法と提案(骨格、視覚効果について) 体型の骨格の違い と、錯視効果を取り入れたコーディネート方法を学び、他者のその人らしさのあるコー ディネート提案ができるようになる				⑫ (7/10)	【到達目標】5 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネートの提案の発表と次週のGPワー ク。情報収集と分析をもとに、与えられた課題に説得力のある提案が出来るようになる。 課題適応力を養う			
⑤ (5/22)	【到達目標】2 TPO、トレンド感性、体型カバーのコーディネートテクニックを学ぶ。業界人として必要な 基礎知識を学び、どのようなテクニック方法があるか、情報収集し、共有することができ る				⑬ (7/17)	【到達目標】2 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネートの提案。協調性をもって説得力 のある提案ができるようになる			
⑥ (5/29)	【到達目標】2 条件別のファッションコーディネートをGPワークし、提案、発表。指定された条件に合う コーディネートを方法を積極性、協調性、集中力をもって提案する				⑭ (8/21)	【到達目標】5 定期試験に向けての準備をGPワークし、個人担当の役割を確認する。準備を怠らず定 期試験に成果を残す			
⑦ (6/5)	【到達目標】2 「着る、まとう」を考えてみる。一枚の布からコーディネートのアレンジを創意工夫で提案 し、発想力の強化を図る				⑮ (8/28)	【定期試験】60 授業で習得した知識、技術を活かした成果を100%の力で発揮することができる			
⑧ (6/12)	【到達目標】2 ファッションコーディネートの着回し方法の基本(テイスト別)を知り、幅広いニーズ提案で けるようになる。指定されたアイテムをしようした着回しのGPワーク				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
多様性の理解と協議力を身につけ、常に学び意欲を持って積極的に 取り組むこと									

講義シラバス

科目名	メイクテクニック (メイク検定)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	箱石結衣 水戸愛里 森夏子	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
基礎のメイクの仕方と接客マナーの大切さを学び、JESCメイク検定が合格出来るようになる									
【学習内容】									
接客マナーを意識し、30分以内でナチュラルメイクを仕上げる事が出来るようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式、テキスト、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/15)	【到達目標】小テスト2点 道具の名称とケア方法、身だしなみ、セッティングをし、P21までの内容を出来るようになる (P5～21、40、72)				⑨ (6/24)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試			
② (4/22)	【到達目標】小テスト2点 セッティング、身だしなみを再確認し、パウダーまでを相モデルで出来るようになる (P72～75)				⑩ (7/1)	【到達目標】小テスト5点 【中間チェック】事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(35分) 筆記模試			
③ (5/13)	【到達目標】小テスト2点 事前準備からアイメイクまでを相モデルで出来るようになる (P26～31)				⑪ (7/7)	【到達目標】小テスト3点 韓国メイク※左右対称			
④ (5/20)	【到達目標】小テスト2点 事前準備からアイブロウまでを相モデルで出来るようになる (P22～25)				⑫ (7/14)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試			
⑤ (5/27)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からチーク・リップまでを相モデルで出来るようになる (P32～39)				⑬ (8/19)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる (30分) 筆記模試(夏休み)			
⑥ (6/3)	【到達目標】小テスト3点 接客を意識し、事前準備からリップまで相モデルで出来るようになる(40分) 次回のコラージュ作成				⑭ (8/26)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試(夏休み明け)			
⑦ (6/10)	【到達目標】小テスト3点 カラーメイク ※左右対称				⑮ (9/2)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試			
⑧ (6/17)	【到達目標】小テスト3点 ラメ、グリッターメイク※左右対称				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス									
科目名	アシスタントプログラムⅠ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	藤 なつき	講師 プロフィール	札幌ベルエポック専門学校を卒業し、美容師、ブライダル会社にてドレスコーディネーター、ヘアメイクとして勤務。現在はフリーランスのヘアメイク。						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアメイク業界の情報と、現場で必要な知識・アシスタントとして必要な現場の動きを身に付ける。 アシスタントとして仕事をする際のクライアントへの気配り、現場のマナーを身に付ける。									
【学習内容】									
アシスタントとして必要なら知識や技術、マインドを身につける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具					1.事前準備(授業前までに準備) 2.立って授業を受ける 3.ヘアメイク作品の整理				
日時	授業計画			日時	授業計画				
① 4 /17	【到達目標】 筆記用具			⑨ 6/19	【到達目標】 ヘアセット道具一式、ウィッグ				
	自己紹介、将来についてイメージする。発表。				パーマ風に髪を巻きセットするトレーニング(カールアイロンに慣れる)				
② 4/24	【到達目標】 筆記用具、ウィッグ、ピン、クランプ			⑩ 6/26	【到達目標】 ヘアセット道具一式、ウィッグ				
	現場実習を想定したアシスタントワークの実践(ヘア中心) ピンのヘルプアシスタントができるようになる				パーマ風に髪を巻きセットするトレーニング(カールアイロンに慣れる)				
③ 5 /8	【到達目標】 筆記用具			⑪ 7/3	【到達目標】 ヘアセット道具一式、人頭				
	それぞれの現場に合わせたアシスタントの動きや身だしなみについて理解する。アシスタントの持ち物についての確認。				先週ウィッグでおこなった、人頭でバランスを考え再現し、撮影				
④ 5/15	【到達目標】 ヘアセット道具一式、ウィッグ			⑫ 7/10	【到達目標】 ヘアセット道具一式、人頭				
	簡単なヘアセットのバリエーションを増やす				先週ウィッグでおこなった、人頭でバランスを考え再現し、撮影				
⑤ 5/22	【到達目標】 ヘアセット道具一式、人頭			⑬ 7/17	【到達目標】 切り抜き、ハサミ、のり				
	人頭で簡単なヘアセットができるようになる。セット剤に慣れる。				コラージュの作成。 (入学してからわかってきた自分の好みをまとめる)				
⑥ 5/29	【到達目標】 ヘア道具一式、ウィッグ			⑭ 8/21	【到達目標】 筆記用具				
	簡単なヘアセットならバリエーションを増やす				自分の強みについて考える(グループワーク) ハキハキと元気にアシスタントらしくふるまえるようになる				
⑦ 6/5	【到達目標】 ヘアセット道具一式、ウィッグ			⑮ 8/28	【定期試験】60				
	現場を想定したアシスタントワークの実践(ストレートアイロンの使い方)				1分間スピーチ、全員の前で発表 人前でしっかりと話せるようになる				
⑧ 6/12	【到達目標】 ヘアセット道具一式、人頭			【成績評価の方法と基準】					
	先週ウィッグで習得したストレートアイロンを人頭で実践。			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
学校のイベントなどで授業内容変わりますので持ち物の確認はしっかりお									

講義シラバス									
科目名	フォトシューティング	必修選択の別	必修	開講区分	1S	授業形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	鹿内魁人 石川紗織	講師プロフィール							
【授業を通じての到達目標】									
撮影現場での現場力を養い、即戦力として活躍するための動きを身に付ける。 現場に必要な人間力を身に付け現場に行ける様になる。									
【学習内容】									
撮影の基礎を学び、作品作りを習慣つける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘア・メイク道具、筆記用具、携帯カメラ									
日時	授業計画			日時	授業計画				
①	【到達目標】			⑨	【到達目標】				
	自己紹介				ロケ撮影を学ぶ				
②	【到達目標】			⑩	【到達目標】				
	撮影における基礎メイクを学ぶ				ロケ撮影を学ぶ				
③	【到達目標】			11	【到達目標】				
	撮影における基礎メイクを学ぶ				スタジオワークを学ぶ				
④	【到達目標】			⑫	【到達目標】				
	撮影における基礎メイクを学ぶ				スタジオワークを学ぶ				
⑤	【到達目標】			⑬	【到達目標】				
	作品作りの基礎を学ぶ				スタジオワークを学ぶ				
⑥	【到達目標】			⑭	【到達目標】				
	作品作り練習				(テスト練習) 広告撮影を想定し、作品を作り上げる				
⑦	【到達目標】			⑮	【定期試験】60				
	(中間チェック)作品作り				(定期試験)撮影				
⑧	【到達目標】			【成績評価の方法と基準】					
	ロケ撮影を学ぶ			●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ブライダルヘアメイク I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	富士智子 箱石結衣 矢戸優	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
ブライダル業界の知識やヘアメイク技術の基礎を身につける。 アシスタントカも身に付けブライダルの現場力も身に付ける。									
【学習内容】									
様々な専門的な技術を学ぶ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16)	【到達目標】小テスト3点 自己紹介、私達の仕事について、シラバス説明、ブライダルについて詳しく学び、理解できるようになる。				⑨ (6/18)	【到達目標】小テスト3点 ウェディングハウス、レストラン、ドレスショップの見学 12時までに完全撤収			
② (4/23)	【到達目標】小テスト3点 会場、スケジュール、和装・洋装などブライダルについて調べ、理解できるようになる。 デモンストレーション				⑩ (6/25)	【到達目標】小テスト3点 7階/ドレス・タキシードの扱い方を学ぶ(パニエ)、前回の見学について感想。 今回のコンセプトシート記入			
③ (5/7)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、相モデルでメイクができるようになる ベース(マット肌)				⑪ (7/2)	【到達目標】小テスト3点 イメージ通りにヘアメイクを仕上げ、シートの発表までをできるようにする (ヘアード使用、ダウンスタイル指定) 相モデル1組目			
④ (5/14)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、相モデルでメイクができるようになる ベース(ツヤ肌)				⑫ (7/9)	【到達目標】小テスト4点 イメージ通りにヘアメイクを仕上げ、シートの発表までをできるようにする (ヘアード使用、ダウンスタイル指定) 相モデル2組目			
⑤ (5/21)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、相モデルでメイクができるようになる アイメイク・アイブロー(画像を模写)				⑬ (7/16)	【到達目標】小テスト3点 定期試験に向けてイメージを膨らませ、しっかりとコンセプトを練る事ができるようにする (会場・ドレス・ヘアメイク・ブーケ・その他小物) 夏休み			
⑥ (5/28)	【到達目標】小テスト3点 ブライダルメイクを意識し、相モデルでフルメイクができるようになる チーク・リップ(画像を模写)				⑭ (8/20)	【定期試験 1組目】60点 【撮影】会場・ドレス・ヘアメイク・ブーケ・その他小物をプロデュースし、イメージ通りにヘアメイクを仕上げる事ができるようにする(相モデル1組目) ※モデルはドレス着用 / 夏休み明け			
⑦ (6/4)	【到達目標】小テスト3点 つけまつげを使用し、ラインストーン・パールストーンでデザインしたブライダルメイクをする(画像から選ぶ)				⑮ (8/28)	【定期試験 2組目】60点 【撮影】会場・ドレス・ヘアメイク・ブーケ・その他小物をプロデュースし、イメージ通りにヘアメイクを仕上げる事ができるようにする(相モデル2組目) ※モデルはドレス着用			
⑧ (6/11)	【到達目標】小テスト3点 相モデルでブライダルヘアセットが出来るようになる (画像から選ぶ)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									